

生涯学習に関する市民意識調査

アンケート実施期間 平成27年9月18日 ～ 平成27年9月27日
 回答者数 188名 (登録者数 456名 うち配信成功数 386名)

●性別

男性	135	72%
女性	53	28%
計	188	

●年齢

20代以下	2	1%
30代	18	10%
40代	40	21%
50代	33	18%
60代	66	35%
70代以上	29	15%
計	188	

Q1 過去1年間に生涯学習に関連した各種の活動を行いましたか。(複数可)

以下のような活動をしていない	77	24%
公的な施設での教室・講座・講演会	57	17%
カルチャーセンター、私塾等が行う教室・講座・講演会	18	6%
通信教育	9	3%
テレビ・ラジオなどの放送講座	12	4%
図書・新聞等で行う学習	12	4%
自主的なグループ・サークル・研修会への参加	30	9%
自主的なグループ等でのボランティア活動	25	8%
職場や地域のグループ等でのボランティア活動	16	5%
町内会での活動	33	10%
各種学校での学習	3	1%
大学での学習	4	1%
企業内での研修	12	4%
P T Aや地域の小中学校・高校が主催する行事への参加	16	5%
その他	2	1%
計	326	

Q2 <Q1で「活動をしていない」を選択した方>生涯学習への意欲を教えてください。

行いたい	32	42%
行いたくない	10	13%
わからない	35	45%
計	77	

Q3 <Q2で「行いたい」を選択した方>行ってみたい生涯学習活動の内容はどれですか。(複数可)

趣味的な活動	28	23%
健康・スポーツ	27	22%
職業上必要な知識・技能	10	8%
家庭生活に役立つ技能	11	9%
ボランティア活動やそのために必要な知識・技能	12	10%
教養的な学習等	9	7%
社会問題に関する学習等	7	6%
育児・教育	2	2%
語学	7	6%
国際理解や国際交流等	6	5%
その他	1	1%
特になし。わからない	4	3%
計	124	

Q 4 生涯学習に取り組む際の情報収集の方法は、どれですか。（複数可）

岡崎市の生涯学習情報HP	26	7%
岡崎市の生涯学習情報チラシ	29	7%
岡崎市市政だよりの講座情報	100	26%
図書館の資料	19	5%
民間の検索サイト	42	11%
ミクス・FMおかざき	2	1%
新聞広告	32	8%
講座等の個別チラシ	57	15%
口コミ	36	9%
その他	15	4%
情報収集はしない。生涯学習を行っていない	29	7%
計	387	

Q 5 これからの生涯学習推進のあり方について、どうすべきだと思いますか。

市役所が中心となるべき	53	28%
市民が中心となるべき	55	29%
民間企業に任せるべき	31	16%
その他	10	5%
わからない	39	21%
計	188	

Q 6 生涯学習で学んだことを今後どのように活かしていきたいですか。

自分で学ぶだけで満足である	52	28%
自分で学んだ成果を発表会、展示会などでだれかに見てもらいたい	7	4%
職業として生かしたい	14	7%
自分で学んだ成果を生かし、人のためとなる活動につなげていきたい	93	49%
わからない	22	12%
計	188	

Q 7 生涯学習の講座に対する費用分担について、あなたの考えに最も近いのはどれですか。

自分が学びたくて学んでいるため、負担するのはかまわない	79	42%
内容が良くなるのであれば、負担するのはかまわない	41	22%
500円～1000円程度であれば負担するのはかまわない	40	21%
お金がかかるのであれば受講しない	5	3%
平等に学習ができるよう、受講者には負担をかけさせるべきではない	9	5%
その他	4	2%
わからない	10	5%
計	188	

Q 8 現在の定期講座の1講座あたり500円又は1000円の運営協力金の額についてどう思いますか。

かなり安いので、もっと高くてもよい	13	7%
少し安いので、もう少し高くてもよい	23	12%
妥当な額である	96	51%
少し高いので、もう少し安くすべきである	5	3%
無料にすべきである	7	4%
いくらでもかまわないが、料金は徴収すべきである	20	11%
わからない	24	13%
計	188	

Q 9 次の本市の生涯学習施策の内、知っているものはどれですか。（複数可）

市民センター定期講座	75	16%
市民センター市民講座	64	14%
市民センター自主講座	36	8%
市民カレッジ大学開放講座	40	9%
りぶら講座	81	18%
岡崎市民ボランティア講座	22	5%
生涯学習活動市職員出前講座	31	7%
岡崎市民大学	63	14%
その他	3	1%
知っているものはない	47	10%
計	462	

Q10 次の本市の生涯学習施策の内、過去1年間に参加したことがあるものはどれですか。
(複数可)

市民センター定期講座	15	6%
市民センター市民講座	18	8%
市民センター自主講座	11	5%
市民カレッジ大学開放講座	10	4%
りぶら講座	23	10%
岡崎市民ボランティア講座	9	4%
生涯学習活動市職員出前講座	12	5%
岡崎市民大学	5	2%
その他	7	3%
参加したものはなし	124	53%
計	234	

Q11 次の講座の内、受けてみたい講座はありますか。(複数可)

俳句	14	4%
短歌	8	2%
川柳	12	3%
茶道	11	3%
生け花	10	3%
英会話	38	10%
簿記	9	2%
珠算	2	1%
手話	19	5%
囲碁	13	3%
将棋	7	2%
編み物	7	2%
着物着付	14	4%
社交ダンス	6	2%
クラウン(道化師、ピエロ等になることによる新たな自分の発見)	8	2%
ファイナンシャルプラン(資産運用・財産形成計画)	35	9%
ネイルアート(爪の装飾)	3	1%
コーチング(能力開発)	25	6%
テーブルコーディネート(食卓の調和のとれた組み合わせ)	5	1%
インテリアコーディネート(インテリアの調和のとれた組み合わせ)	10	3%
トールペイント(木製品に絵具を塗る手芸)	8	2%
ガーデニング(園芸)	39	10%
フラワーアレンジメント(洋風生け花)	12	3%
その他	34	9%
特になし	49	12%
計	398	

Q12 図書館・図書室(りぶら、市民センター、学校など)の利用について教えてください。

よく利用する	42	22%
たまに利用する	76	40%
ほとんど利用しない	36	19%
全く利用しない	34	18%
計	188	

Q13 どういった目的で図書館・図書室を利用しますか。(複数可)

図書を読む	54	22%
図書を借りる・返す	104	41%
DVD・CDを借りる・返す	13	5%
学習をする	25	10%
レファレンスで調べる	5	2%
新聞・雑誌を読む	33	13%
その他	17	7%
計	251	

● Q 1

毎日パソコン教室へ通学中（7年弱年）
生涯学習の推進としての公益活動

● Q 3

SMS

● Q 4

友人より
インターネット
個人で登録しているメルマガ
自主講座のためすでに知っている
町内会の回覧
SNS(Facebook)
学区の老人クラブや福祉委員会からの情報
関連機関のメールマガジン
家内が通ってるカルチャーセンター
公共施設の配架情報
雑誌
市政便り
専用の資料

● Q 5

人気のある学習に絞って継続するべき。予算は限られているため
いろいろな間口があった方がよい
一つの機関だけではなく複合的に
三者で取り組むべき
ニーズを拾い上げて、市役所が計画
行政と民間が各々ポリシーで実施
市民と市が協働でやるべき（管理は市）
生涯学習は広い範囲に亘るため、分野や内容によって中心は変わる
自分自身で考える事
個人の意思に任せるべき

● Q 7

途中でいなくなる人がいるので、辞めにくいように負担は必要。
内容にもよります
100円～500円程度であれば負担するのは構わない。
受講者負担で良い、補助金受給あれば、なお良い

● Q 9

いくつか名前は知っているが具体的なことは理解していない
生涯学習雑談会、生涯学習案内窓口
向上心が無いため興味が湧かない

● Q10

学区主催の講演会
生涯学習雑談会、生涯学習案内窓口
スキルアップ講座
ゲートキーパー講習
町内でのボランティア学習
放送大学
福祉協会の講座

● Q11

日本史
近代史講座
自然環境や歴史・文化財に関すること
自然観察
SMS
カメラ、パソコン（WEB、EXCEL）
写真・ビデオ編集
マイコン講座
運動関係
ゴルフ
指編み、ハイキング講座があるとよい
陶芸
絵画
書道
仕舞い
吟剣詩舞
麻雀
剪定
家庭菜園
日曜大工、日曜野菜栽培
男の料理
旅行
音楽関係
オカリナの練習
アコースティックギター
マンション管理組合運営
救命救急
岡崎市の将来像

● Q13

コンサート
ワークショップ参加
催し物
生涯学習推進活動をする
印刷、展示、イベント参加、待ち人参加
会議・講演会・ライブ・おかビズ
町ゼミ
学習会
調査・研究
専門書（園芸、パソコン：EXCEL）
古地図
定期講座など講座の情報を集める
情報収集
散歩がてら 気分転換
印刷室を利用する
吟剣詩舞の稽古